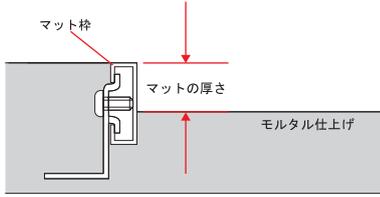




スノコの施工とメンテナンス

■厚みの確認

- 落とし込みで設置する場合は、設置場所の落とし込み深さを確認して深さにあった厚みのマットをご指定下さい。
- ステンレス枠を設置の場合はマットの厚み分の深さにモルタルを仕上げして下さい。また開き戸の場合、扉にマットが当たらないか確認して下さい。
- モルタルの仕上げで排水用の勾配が大きい場合は、マットの歪みや振動の原因になります。別途勾配用の補強をお願いいたします。



●カットが必要な場合の加工方法



■厚みの確認 (置き敷き設置時)

- 開き戸の場合、扉にマットが当たらないか確認して下さい。
- 置き敷き設置の場合、段差解消の為、製品仕様でフチ付きタイプがある場合はフチを取り付けて使用して下さい。
- 以下の製品でフチにコーナーを付ける場合はカットが必要です。
ジョイントタタミ・フィットチェッカー・パレスチェッカー
ソフトチェッカー・タフチェッカー・クッションチェッカー

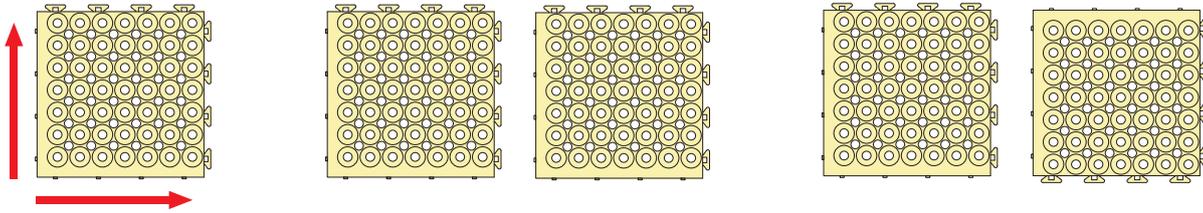
■基本的なジョイント方法

●多くのジョイントマットはL字方向に同じジョイント部分が入っています。その為より効率的に設置する為にはジョイントの向きを合わせる事がポイントになります。仮に向きを合せなくてもジョイントできますが施工効率の下がる可能性があります。またジョイント自体が出来ない場合もあります。

●例：ソフトチェッカー (P86)

○本体の向きに合わせてジョイント

×本体の向きに合わせないでジョイント



■製品のカット方法

●敷き込みをした時の寸法調整は本体のカットによりおこないます。道具はマットの材質によって異なりますが、カッター又はノコギリ等で怪我に注意してカットをおこなってください。



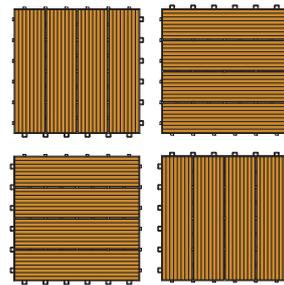
※マットをカットするとその部分はジョイント出来なくなるのでご注意ください。

■特殊なジョイント方法

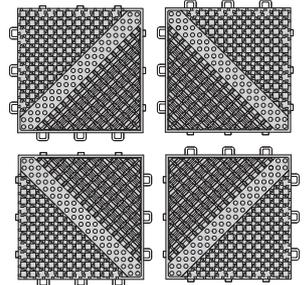
●基本的なジョイント方法の他に、一部のジョイントマットによっては意図的にジョイントの向きを変えてマットを組み合わせる方法があります。マットの本体の表面形状が一方方向の物や非対称模様のマットがそれらにあたります。それによって特殊なマットデザインを描く事ができます。

●当社のジョイントマットも含め多くの樹脂系マットは環境(特に温度差)による製品の伸縮が発生します。その中で当社製品は伸縮の起きにくい製品開発をおこなっています。しかしながら製品の材質上、伸縮は避けられない問題といえます。そのような問題を避ける一つの手段としてある程度のブロックごとにジョイントをおこなわない方法があります。これによって伸縮の誤差を緩和すると共に、設置後のメンテナンス等の掃除作業の効率化を図ることが出来ます。使用枚数が多いと思われる時の設置例としてお考えください。

●市松模様例：デッキJフロアーⅡ



●非対称マットでの模様付け例：ブラシマットA



■設置時のお願い

- ジョイント式の為、結合が完全に出来ているか、ご確認の上ご使用ください。
- 樹脂製品の為、直射日光や輻射熱等で高温になる場所での設置に関しては、ご注意ください。
- この製品を傾斜部に設置しないでください。
- この製品は、平坦な場所での小サイズや滑りやすい床面での設置には、製品自身の滑り防止をしてください。
- 置き敷きとして使用される場合は、つまづく恐れがありますので専用枠またはフチ付きをご使用ください。
- 巻き癖がついている場合は、十分巻き癖を取り去ってから施行してください。
- この製品を設置する場合は、設置面にゴミや凹凸がないようにしてください。
- 温度差により多少の伸縮をします。
- 樹脂製品の為、温度変化により伸縮を繰り返し最終的に縮む傾向となります。また設置面が商品の融点を超える場合、融け、波打ちが生じる場合がありますのでご注意ください。

■お手入れの仕方

- 日常のお手入れは、水又は薄めた中性洗剤で洗ってください。
- 洗剤が残らないように洗い流してください。滑って転倒などの原因になります。
- 表面のほこり、ゴミ等は掃除機で吸い取ってください。
- シンナー等の揮発性の高い溶剤がかかると、樹脂破壊が起こり、変形の原因となりますのでご注意ください。
- これら製品は、樹脂を使用しておりますので永い間のご使用に関しては、樹脂劣化も考えられますので使用時には再点検をお願いします。
- 廃棄の場合は産業廃棄物扱いになります。